夏のオープンキャンパス開催

七月二十二日、「夏のオープンキャンパス」を泉キャンパスで開催した。

昨年に続き対面型で実施した今回のオープンキャンパスには、九百名以上の学生・保護者が来場した。

事前申込制として、入試説明会、個別入試相談会、個別学科相談会、学生生活・奨学金個別相談会の各プログラムを一枠二十分に設定し、入室は一組につき三名までに制限した。参加者には本学が定めた新型コロナウイルス感染症対策に準じて、マスクの着用、検温や手指消毒に協力してもらうなど、感染拡大防止対策を講じた。

当日の朝は時折霧雨が降るなど連日の猛暑から解放されたような天候となる中、九時三十分より受付し、入試説明会を除くプログラムを十時から開始した。学生や保護者は事前に申し込んだプログラムの会場を訪れ、教職員の話に聞き入り、相談や質問をしていた。

また、コロナ禍で昨年度は実施できなかった集団形式の入試説明会を、今回は前述の感染症対策を講じた上で実施。十時三十分から始まった一回目は、定員百五十組に対して、所定の座席間隔を空けての参加ながら満席となった。牧野悌也入試部長が登壇し、学生や保護者に対して二〇二二年度入学者選抜方式の概要や二〇二一年度からの変更点など、多くの情報を説明した。

また、各プログラムの控え室では各学科の特長やキャンパスガイド、学生生活のPR映像を放映。施設では礼拝堂を公開するなど、コロナ禍でも行えることを通じて東北学院大学での学びや魅力を存分にアピールした。

各プログラムがほぼ定員に達するほど盛況となった「夏のオープンキャンパス」の開催後は、七月二十四日から三十一日まで本学ホームページ上で様々なコンテンツを自由に視聴できる「オンラインオープンキャンパス」を公開した。オンラインオープンキャンパスでは、大西晴樹学長からのメッセージをはじめとして、キャンパスガイドや学科紹介ガイダンス、二〇二二年度入試情報に関する動画を中心としたコンテンツを展開し、多様なニーズに応じて情報を提供した。

また、七月三十一日にはビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」を使用したオンライン個別入試・学科相談会を開催。対面式のオープンキャンパスに参加できなかった学生も多く参加した。各学科の教員や入試部職員が学生と一対一で面談し、興味のある学科に関する質問や、入試についての悩みなど多くの相談が寄せられた。

今回の夏のオープンキャンパスは昨年より多くの学生や保護者に参加いただきました。未だコロナ禍が続く中、受験生に対して有益な情報を伝える機会を少しでも多く作ってまいります。

東北学院大学後援会による新型コロナウイルス感染症対策に伴う学生生活支援事業について

1 全学生に対する学生生活の負担軽減として一律5,000円の援助

昨年度に引き続き、コロナ禍による学生生活の負担軽減を目的に、全学生へ一律5,000円相当を援助する。具体的には、大学生協の組合員であれば生協電子マネーに5,000円がチャージされ、非組合員であれば図書カード5,000円分を贈呈する。電子マネーへチャージをすることにより、学内の生協が運営する購買店舗・食堂で利用できる。また、書籍・文具・日用品・食料品の他、図書カードやプリペイドギフトカードの購入も可能である。

2 学生の諸活動に対するPCR検査費用の援助

学生の課外活動や就職活動などの諸活動が、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の地域において実施され、それに対して学生課・就職キャリア支援課にて援助が必要と判断した場合、新型コロナウイルスの感染症の早期発見、感染拡大防止を目的とし、PCR検査の受検費用を援助する。費用は一般財団法人材料科学技術振興財団が行う検査1回3,300円のうち、内容に応じて全額または一部の援助が受けられる。また、他の検査キットを使用した場合でも3,300円を上限として援助する。対象は、課外活動に参加する学生や同行する指導者ならびに就職活動を行う学生である。その他、課外活動や就職活動以外で検査を希望する学生には、検査費用を負担した場合に限り受検することができる。

課外活動
- ▶公式大会などに参加の際に事前のPCR検査受診を求められた者
  ↳全額後援会負担
- ▶該当地域での公式大会などから帰仙した者（希望者のみ）
  ↳1,000円を学生が自己負担

就職活動
- ▶TGインターンシップなどの参加者、事前のPCR検査受診を求められた者
  ↳全額後援会負担
- ▶感染者多発地域での就職活動などから帰仙した者（希望者のみ）
  ↳1,000円を学生が自己負担

大学拠点接種

本学では今年の七月十七日より、仙台駅東口のヨドバシカメラマルチメディア仙台四階に開設されている「東北大学（宮城県・仙台市）ワクチン接種センター」における大学拠点接種を実施している。

これは、六月二十一日より東北大学が開始した大学拠点接種に、仙台学長会議（二〇二一年度代表校＝東北学院大学）加盟校を中心とした十三校を追加して実施しているものである。これにより早期の集団免疫獲得を実現するとともに、今年度後期からの対面授業の拡大を目指している。

本事業の実現に際しては、「予約システムの構築」「宮城県、東北大学との折衝」「参加各校との調整」という課題を乗り越える必要があり、本学は今年度仙台学長会議代表校としてこれらの業務を中心的に担うこととなった。折衝の結果、予約システムは東北大学で運用中のシステムをカスタマイズし使用させていただけることになり、最も大きな懸案を解決することができた。日程に余裕のない状況にも関わらず、参加各校担当者の協力により迅速に実施内容を策定することができ、結果として本事業への参加意向調査から一か月未満での接種開始を実現することができた。

仙台学長会議を代表して大野総長に感謝を伝える大西学長（東北大学片平キャンパス）

ワクチン接種においては副反応が起きるリスクがあり、体質や持病などの理由でワクチン接種ができない方もいるため、接種を受けるかどうかは個人の自由意思としている。そのような中、七月末日現在で本学学生・教職員のおよそ三割が接種予約を完了している。九月末日までの実施予定期間中になるべく多くの希望者が接種できるよう、円滑な運営を継続していく所存である。

引き続き新型コロナウイルス感染症の収束に向けた大学としての社会的責任を果たしながら、充実した教育サービスの提供を継続し、学生が安心してキャンパスに集うことのできる環境を実現していきたい。

中学校・高等学校 オープンスクール

学院を「知る・楽しむ」一日

中学校・高等学校では、七月三十一日に中学校、八月六、七日に高等学校のオープンスクールを開催した。

今年は、昨年発表された共学化を含む本校の学校改革への期待もあって、昨年度と比較して中学校で約二・三倍、高等学校で約三・九倍の申し込みがあった。

さらに、コロナウイルス感染症対策としての人数制限も行ったため、高等学校については一回の開催予定を三回にまで増やすことで、希望者全員の来校を可能にした。

参加してくれた女子生徒の比率も、約四割（中・高共）と当初の予想を大きく超える数字となり、本校の改革に大きな期待を寄せていただいていることを感じた。

第一部のオープニングセレモニーでは、阿部恒幸校長からあいさつと学校改革の説明、生徒たちによる「TGスクールライフ」という学校紹介があり、第二部は体験授業、部活動見学、キャンパスツアー、校内見学、個別相談などでより深く本校のことを知っていただくことができた。

教職員が一致団結して取り組むことはもちろん、生徒会執行部を中心とするたくさんの生徒たちが受付、誘導、案内、ステージ発表などで大活躍してくれた。

榴ケ岡高等学校 オープンキャンパス

学校生活の理解を深める さまざまな企画を実施

八月二十一日、榴ケ岡高等学校でオープンキャンパスを開催。第一部（午前）と第二部（午後）に分散し完全予約制で実施した。

はじめに礼拝堂で全体説明会を行い、終了後は施設・部活動の見学のほか予約制による個別相談、体験授業を実施した。

全体説明会では河本和文校長が榴ケ岡高等学校の歴史や特色について、コース制の第一期生が誕生することや課外活動が充実した体制になっていることを中心に説明をし、あいさつとした。続いて、砂田泰宏入試対策室長が二〇二一年度入試状況、来年度の入試制度の概要について説明した。最後に岩松憲幸事務長が学納金と奨学金について説明を行い、参加者は熱心に聞き入っていた。

その後は校内にて体験授業や部活動見学、個別相談会などが行われ、参加者に普段の学校生活の理解を深めてもらおうとさまざまな企画を実施した。体験授業では歴史と情報の授業を体験してもらい、施設・部活動の見学では各部活動の練習風景を公開した。より詳しい説明を希望する参加者には、個別相談会の場も設けて対応した。

当日は人数制限を行っての開催となったが、参加した中学生と保護者には本校を知ってもらう良い機会となった。

幼稚園 オープンキャンパス

昨年度は感染防止対策によりオープンキャンパスは中止とした。今年度も開催日が感染防止対策を徹底しなければならない時期であることから、親子で来園し、実際に教師と関わりながらのクラス活動体験や簡単な製作活動、広い園庭で遊ぶ体験など園での生活を体験してもらう例年のプログラムは中止とした。

しかし、本園を知ってもらい、入園につなげる広報活動は必要であることから、行事・活動での園児の姿を動画撮影したものをまとめ、自然豊かな広い園庭風景などを新たに入れたものを園紹介動画として作成し、九月よりホームページで公開している。また、幼稚園説明会も数回に分け人数制限で行うなど、昨年度を踏まえ可能な方策を今後も実施していく。